

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
日常生活活動学実習			必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 祐太 他		D310	y.sakamoto			
授業の目的・概要	介助が必要な方の日常生活活動に必要な知識、介助技術、支援技術を習得し、実践できることを目的とする。各疾患の代表的な日常生活動作の指導方法、介助方法の実技を取り入れ、日常生活活動を理解する。					
授業形式・方法	☒対面授業 ☒遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学习) ☒講義 ☒実習 ☒演習 ☒実技 ☐PBL ☒グループワーク ☐その他（ ☒反転授業 ☐プレゼンテーション ☒ディスカッション・ディベート ☒実習・フィールドワーク)					
学習上の助言	実技を中心に行う実習科目である。各回の講義動画を事前に視聴し、講義に臨むこと。					
教科書	姿勢と動作 ADL をその基礎から応用 第3版 / 著：齋藤 宏、矢谷 令子、丸山 仁司 / メヂカルフレンド社 理学療法学テキスト 日常生活活動学/ 編集：白田 滋、MEDICAL VIEW					
参考書	標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第4版/編：鶴見 隆正、隆島 研吾/医学書院 新版日常生活活動（ADL）第2版評価と支援の実践 / 伊藤利之・江藤文夫編集 医歯薬出版					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	臨床における日常生活活動で必要な知識を理解し、説明できる。				PT (1)	
②	日常生活活動に必要な指導方法を習得する。				PT (1)、(5)、(6)	
③	日常生活活動に必要な介助方法を習得する。				PT (1)、(5)、(6)	
④	日常生活活動に必要な住環境整備や補助具を理解し、説明できる				PT (1)、(5)、(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	日常生活動作学実習の概論	〔担当〕 坂本	講義			0
2	寝返り動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	寝返りの講義動画を視聴しておくこと		1
3	起き上がり動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	起き上がりの講義動画を視聴しておくこと		1
4	起立、着座動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	起立、着座の講義動画を視聴しておくこと		1
5	移乗動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	移乗動作の講義動画を視聴しておくこと		1
6	車椅子動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	車椅子動作の講義動画を視聴しておくこと		1
7	歩行動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	歩行動作の講義動画を視聴しておくこと		1
8	セルフケア、応用動作について学習・指導・介助方法の実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	階段昇降の講義動画を視聴しておくこと		1
9	脳卒中片麻痺の日常生活動作について実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	脳卒中の日常生活動作の講義動画を視聴しておくこと		1
10	骨折・人工関節術後の日常生活動作について実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	骨折・人工関節術後の日常生活動作の講義動画を視聴しておくこと		1
11	脊髄損傷の日常生活動作について学習し、実技を行う。	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	脊髄損傷の日常生活動作の講義動画を視聴しておくこと		1
12	実技復習①：基本動作	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	実技練習をしておく		2
13	実技復習②：歩行と日常生活動作	〔担当〕 坂本、甘利	実習・実技	実技練習をしておく		2
14	common disease の日常生活活動について講義する	〔担当〕 坂本	講義・演習	住環境について調査する		0
15	住宅環境整備についてグループで演習する。	〔担当〕 坂本	講義・演習	住環境について調査する		1

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

試	筆記試験をおこなう		
---	-----------	--	--

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	5	15
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	筆記試験（①，④） 定期試験を実施し、達成度評価を行う（評価割合：40％）			試験結果の返却または開示	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓	実技試験（①，②，③） 授業への中で行う実技試験 2 回（評価割合：30％）			授業の中でフィードバック 確認に来た学生には、個別に 対応する。	
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業への取り組み姿勢（評価割合：30％）：講義視聴後のリアクシ ョンペーパーを提出させ、評価する			授業の中でフィードバック 確認に来た学生には、個別に 対応する。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

備 考	
他 担 当 教 員	甘利貴志
教員の実務経験	理学療法士（二次救急の急性期病床を持つ地域中核病院にて、整形外科疾患や内部疾患を中心に常勤として 7 年の勤務経験）
実践的授業の内容	教員が担当した症例について紹介し、理学療法を実施する上で必要な指導方法・介助技術のデモンストレーションを行い、実践する。模擬患者に対し、一連の指導を実施する。
そ の 他	実技を行うので、動きやすい服装で参加すること。 2～11 回までの 10 回は講義動画を視聴してから授業に参加すること。 感染対策：大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって授業形態の変更など、再度シラバスの変更がある可能性がある。また、授業の進行状況により、一部変更される場合がある。